

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)ミュージアムの事業の実施に関すること (2)ミュージアムに観覧及び利用の許可に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)施設等の維持管理に関すること (5)減免対象者の利用に関すること (6)その他の業務

採点表		評価項目		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析・評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	－	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	85%未満 2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。	・28年度 延べ人数 15,843人 ・29年度 延べ人数 20,507人(国際陶磁器フェスティバル開催年:共通券入館者数=3,830人) ・30年度 延べ人数 13,457人 ・元年度 延べ人数 15,541人 ・2年度 延べ人数 5,884人 ・3年度 延べ人数 11,758人(国際陶磁器フェスティバル開催年:共通券入館者数=2,178人) ・新型コロナウイルスの影響を受けていたが、入場者は38%(R2)から82%(R3)へ回復となった。 ・年間8つの企画展に加え関連イベントも複数開催。企画展に併せてギャラリートークや関連イベントも実施し、リピーターにも喜ばれる企画を実施している。	8点		
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		－	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		30	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点	・企画展 8回開催。「(続)わが桃山陶一館収蔵品物語」第Ⅱ記「西浦焼－世界の巨人に挑んだ器たち－加納COLLECTION」・「西浦焼－電燈所 た欄コレクションを中心に－」・「明治・美濃 超絶三人展－加藤五輔・西浦園治・成瀬誠志の世界－」・「多治見工業高等学校専攻科展」・「ART BRUT MINO」・「鈴木藏 美の世界」・「思春期の心 多治見中学校3年生の茶碗」 ・多治見市文化財保護センターと連携し移動展「信長の朱印状と陶祖の窯」を開催。 ・随時、展示作品の追加や展示替えを実施 ・中高の社会見学を受け入れ実施 ・連携イベント「穴窯フェア」を実施 ・特別鑑賞会～本物を手に触れる鑑賞～を実施 ・常設展、企画展のギャラリートークを実施	期待以上 13点	美濃焼を中心としたあらゆる歴史や文化に触れてもらうため、多方面から関心が持てるような様々な取り組みを実施している。 ・「鈴木藏美の世界」では、地元での展示の開催は24年ぶり、期間中、人間国宝がどのように作品制作に取り組んでいるのか先生にもご出席いただきプレスプレビューを行ったり、氏の器で呈茶をする等、理解を深める取組みを実施 ・「明治・美濃 超絶三人展－加藤五輔・西浦園治・成瀬誠志の世界－」では、日常食器製作が主であった明治期に、美術品制作に情熱を傾けた3人の生き様を通して見て頂く取り組みを実施。 ・「ART BRUT MINO」・「岐阜泉の障害のある人が創作した作品を展示、観覧者が作品から語られる思いを感じ、心の中に残されることを願って実施、障害者施設の方の来場者が増加 ・「西浦焼－世界の巨人に挑んだ器たち－加納COLLECTION」・「西浦焼－電燈所 た欄コレクションを中心に－」においては、西浦焼を当時の時代背景、外国製品との対比をしたり、西浦焼を収集された加藤た欄氏のコレクションを展示し、郷土のすばらしを紹介	26点		
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	週に1回、業者に清掃委託をしているほか、職員が毎日清掃活動を行っている。	10点		
			②保守・点検			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	自家用電気工作物管理の月例点検として月例点検年6回、年次点検年1回実施。空調機器設備保守点検を年4回実施。自動扉点検業務を年4回実施。不調確認時には建築住宅課や業者に連絡をし迅速な対応、修繕を実施			
			③保安・警備			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	日中は、目視及び監視モニターによる警備、夜間は機械警備を委託している。消防用設備定期点検業務を年2回実施。			
			④小規模修繕			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	指定管理者にて負担			
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	敷地外周から館内までを確認し、特に可動部があるドア、窓、手すりやバリアフリー用具を重点的に確認している。公園隣接側の立枯れの樹木を伐採。			
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	キャビネットを活用し、整理方法を見直した。分野ごとに情報を周知する責任者を決め、ファイリングシステムを積極的に活用した。	適正(普通) 2点	県・市・事業団など各組織、各施設からの受信文書を職員に周知、情報を共有するためのファイリングシステムを活用し、キャビネットを使用し保管することで誰でも文書が探せるようになっている。市のファイリングマニュアルを参考にファイリング研修を実施し、文書管理に活用している。	13点		
			②環境への配慮			適正に実施されている。	期待以上 3点	紙類を資源活用センターに持ち込み積極的にリサイクルすることで(計540kgのリサイクル実施)、ごみを削減している。対応可能な器具については、消費電力の削減のためにLEDの蛍光灯に随時交換した(13本)。			
			③バリアフリー			日常点検の徹底。車いす・ベビーカーの状態チェック実施。	期待以上 3点	夏場の消費電力削減のため、UV・遮熱フィルムやブラインドで西日が差し込むのを防止している。コロナウイルス対策として、環境にやさしいオゾン(O ₃)にて殺菌消毒を行っている。			
			④備品管理			適正に実施されている。	期待以上 3点	希望者に車椅子の貸出を実施。多目的トイレや身体障害者用駐車場を設置している。スロープ・手すりの日常点検を徹底。駐車場はユニバーサルデザインのスペースを設置。併せて、駐車場のラインが劣化し希薄になっていたため、再塗布。			
			⑤個人情報保護			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	耐久年数を繰延するため、備品のメンテナンスを主に職員の手で行うことで経費を削減した。 ・M1展示室のタイルカーペットが経年劣化したため、職員にて張替えを実施。 ・中庭柱再塗装、門扉再塗装、鉄門扉再塗装作業を職員で実施。			
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	適正に実施されている。	事故なし・対応に不備なし 0点	公園隣接側の立枯れ木を2本を撤去(令和3年11月19日)	0点					
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入【34,179,323】÷支出【36,591,227】＝93% ※事業収入とは別に多治見市指定管理者緊急支援金503,966円の支給あり	100%未満 3点	－	4点			
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・アプローチ看板の矢印デザインを変更 ・観光施設の役割を充実 ・お土産品を開発	期待以上 9点	お客様から頂いたご要望やご意見にはすぐに対応するようにしている。 ・アプローチ道路の看板矢印が分かりづらいとのご意見が多かったため、矢印デザインを変更 ・他館のチラシ、割引券をラックに設置したり、展示作品の作者の工芸品を置いたり、作品の写真付きマグネットを開発するなど、観光施設としての役割を充実させた	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	適正に実施されている。	適正(普通) 4点	特になし	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・中庭の活用 ・小中学生を対象とした郷土愛醸成の取組み ・ガイドブックの充実	期待以上 14点	アイデアを職員で出し合い、多くの人に興味を持ってもらう取り組みが随所にみられる。 ・中庭を使って、クラシック、等の調べなどのコンサートを実施(6/26,11/13) ・文化財保護センターと連携し移動展「信長の朱印状と陶祖の窯」を開催。産業が権力者にとって重要であることを紹介、実物の朱印状を展示し、本物に触れる機会を設けた。 ・一般向けワークショップ、市内外の小中学生を対象に、桃山時代の茶碗に触れさせ、時代背景等を解説。また、器づくりの体験を通じ、郷土愛の醸成へとつなげている。 ・写真付きリストの一覧表や、新規英語ガイドブックを制作・配布し、理解を深めていただける工夫がなされている。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れや不備はない	遅れ・不備なし 減点なし	－	0点			
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等ない	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	－	0点			
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 良好な管理がなされている。	合計88点	極めて良好		